2027年3月期 第2四半期
決算説明資料

東証スタンダード｜ 7991

マミヤ・オーピー株式会社

2025年11月５日

目次

01 — 事業内容

02 — 2027年3月期第2四半期決算概要

03 — 配当について

04 — トピックス

事業内容



電子機器事業

遊技機周辺機器メーカーとして、アミューズメント業界のオピニオンリーダーとして業界全体の活性化・裾野拡大と健全な発展に貢献しています。

売上構成比率 66.2%



スポーツ事業

世界中のゴルフを愛する人々に技術と企画力を通して楽しさと感動を創出します。

売上構成比率 31.7%



不動産事業

居住・事業・医療・店舗の空間（不動産）提供ビジネスにプラスワンの付加価値を創出します。

売上構成比率 2.1%

※2027年3月期第２四半期。報告セグメント毎の売上高及び売上比率は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

決算サマリー （第2四半期累計）

安定的かつ持続的な成長を実現するため、以下の取組を推進し、さらなる企業価値向上を図ります。

- 高品質と低コストを兼ね備えた製品の提供
- 顧客の抱える課題に対するソリューションの提案

売上高

80億円

前年同期比　△38.7%

当第2四半期においては、前年第1四半期まで続いた紙幣改刷の需要が終息したこともあり、前年同期を下回る結果となりました。

営業利益

0.9億円

前年同期比　△95.1%

売上高の減少をはじめ、原材料費や物流コストの高騰の影響等の影響もあり、前年同期を下回る結果となりました。

電子機器事業

53.6億円

前年同期比 △49.6%

スマート遊技機用ユニットの需要は一定に推移したものの、紙幣改刷の需要が終息した影響もあり、前年同期を下回りました。

スポーツ事業

25.6億円

前年同期比 +3.6%

認知度のさらなる向上を目指して国内外での販促活動に注力し、前年同期比を上回りました。

不動産事業

1.6億円

前年同期比 +60.3%

保有不動産の増加による賃料収入の拡大により、前年同期を上回りました。

損益計算書（P/L）

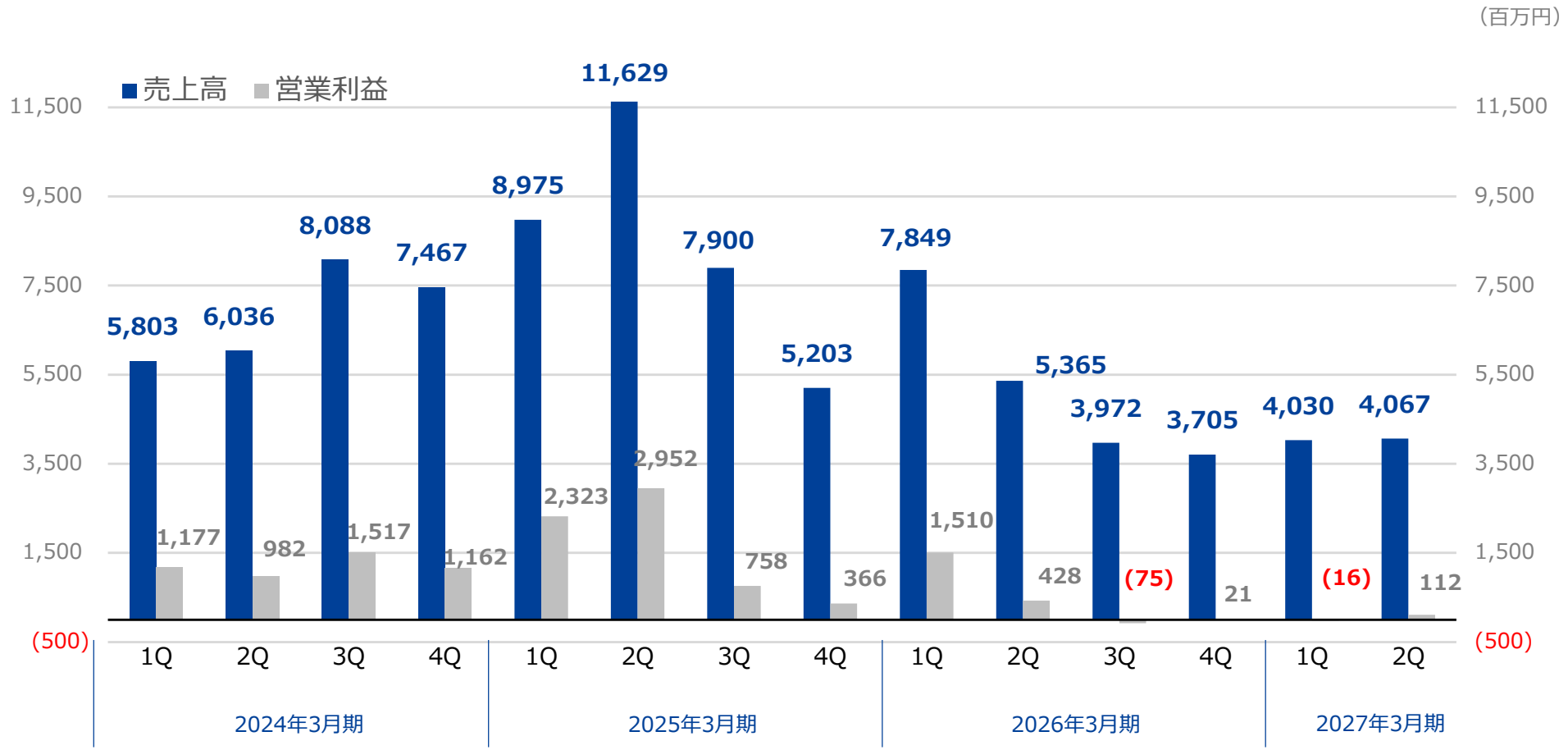
前年第1四半期まで継続した紙幣識別機の改刷対応の終息もあり、前年同期を下回った着地となりました。

（百万円）

	2025年3月期		2026年3月期				2027年3月期		前年同期比率
	第3四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	通期	第1四半期	第2四半期	
売上高	28,504	33,707	7,849	13,215	17,187	20,892	4,030	**8,098**	△38.7%
営業利益	6,033	6,399	1,510	1,983	1,862	1,883	△16	**95**	△95.1%
経常利益	6,400	6,790	1,496	2,176	2,313	2,388	190	**523**	△75.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,384	4,718	1,060	1,572	1,649	1,712	135	**410**	△73.9%

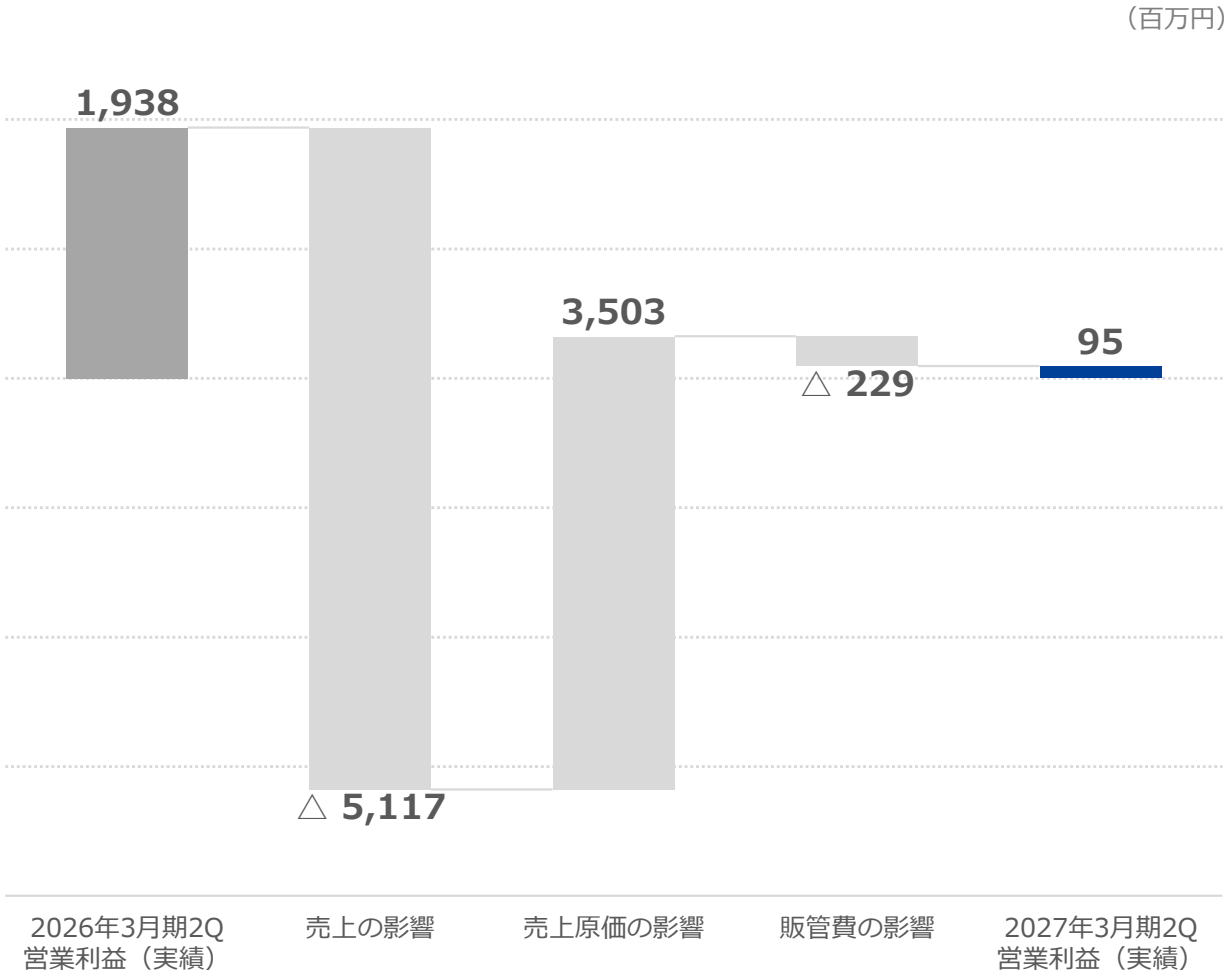
売上高・営業利益の四半期推移

当四半期においては、売上高については一定の水準となりましたが、
営業利益については原材料費等の上昇等の影響もあり、低迷いたしました。



営業利益の増減要因

当第２四半期におきましては、売上高の減少が影響したことにより、前年同期と比べ、営業利益は18.4億円減少いたしました。



- 売上高は前年同期比で38.7%減少し、営業利益に約51億円のマイナスの影響を与えました。
- 売上原価は前年同期比で37.9%減少し、営業利益に約35億円のプラスの影響を与えました。
- 販管費は前年同期比で11.3%増加し、営業利益に約2億円のマイナスの影響を与えました。
- この結果、営業利益は18.4億円の減少となりました。

セグメント別状況

電子機器事業

紙幣改刷の需要が終息した影響もあり、前年同期比49.6%の減少となりました。

スポーツ事業

認知度の更なる工場を目指して国内外での販促活動に注力し、前年同期比3.6%の増加となりました。

不動産事業

保有不動産の増加による賃料収入の拡大により、前年同期比60.3%の増加となりました。

（百万円）	2026年3月期 第2四半期(3ヶ月)		2027年3月期 第2四半期(3ヶ月)		前年同期比増減		2026年3月期 第2四半期(累計)		2027年3月期 第2四半期(累計)		前年同期比増減	
	売上高	構成比（%）	売上高	構成比（%）	額	率（%）	売上高	構成比（%）	売上高	構成比（%）	額	率（%）
電子機器事業	4,222	78.7	**2,598**	**63.9**	△1,624	△38.5	10,633	80.5	**5,363**	**66.2**	△5,270	△49.6
スポーツ事業	1,089	20.3	**1,371**	**33.7**	281	25.9	2,476	18.7	**2,565**	**31.7**	89	3.6
不動産事業	53	1.0	**98**	**2.4**	45	86.3	105	0.8	**169**	**2.1**	63	60.3
合計	5,365	100.0	**4,068**	**100.0**	△1,296	△24.2	20,605	100.0	**8,098**	**100.0**	△5,116	△38.7

貸借対照表（B/S）

仕入債務の支払や借入金の返済が進んだことで貸借対照表全体に大きな影響を与えました。

（百万円）

資産の部	2026年3月期	2027年3月期 第2四半期	増減
流動資産	**22,248**	**19,673**	**△ 2,574**
現金及び預金	10,342	8,528	△ 1,814
売上債権	3,964	4,102	138
棚卸資産	6,828	6,588	△ 239
その他	1,118	485	△ 660
固定資産	**17,681**	**19,314**	**1,633**
有形固定資産	8,802	9,945	1,142
建物及び構築物（純額）	1,764	2,637	873
その他	1,659	1,030	△ 628
土地	5,378	6,276	897
無形固定資産	196	237	40
投資その他の資産	8,681	9,131	450
資産合計	**39,929**	**38,987**	**△ 941**

負債・純資産の部	2026年3月期	2027年3月期 第2四半期	増減
流動負債	**5,760**	**4,883**	**△ 877**
仕入債務	2,220	1,424	△ 796
短期借入金	400	180	△ 220
１年内返済予定の長期借入金	2,318	2,047	△ 271
その他	821	1,231	410
固定負債	**8,051**	**7,782**	**△269**
長期借入金	5,473	5,575	102
その他	2,578	2,206	△371
負債合計	**13,812**	**12,665**	**△ 1,146**
株主資本	23,673	23,590	△ 82
その他の包括利益累計額	2,372	2,683	311
新株予約権	60	46	△14
非支配株主持分	10	1	△9
純資産合計	**26,117**	**26,322**	**205**
負債純資産合計	**39,929**	**39,987**	**△ 941**

業績予想

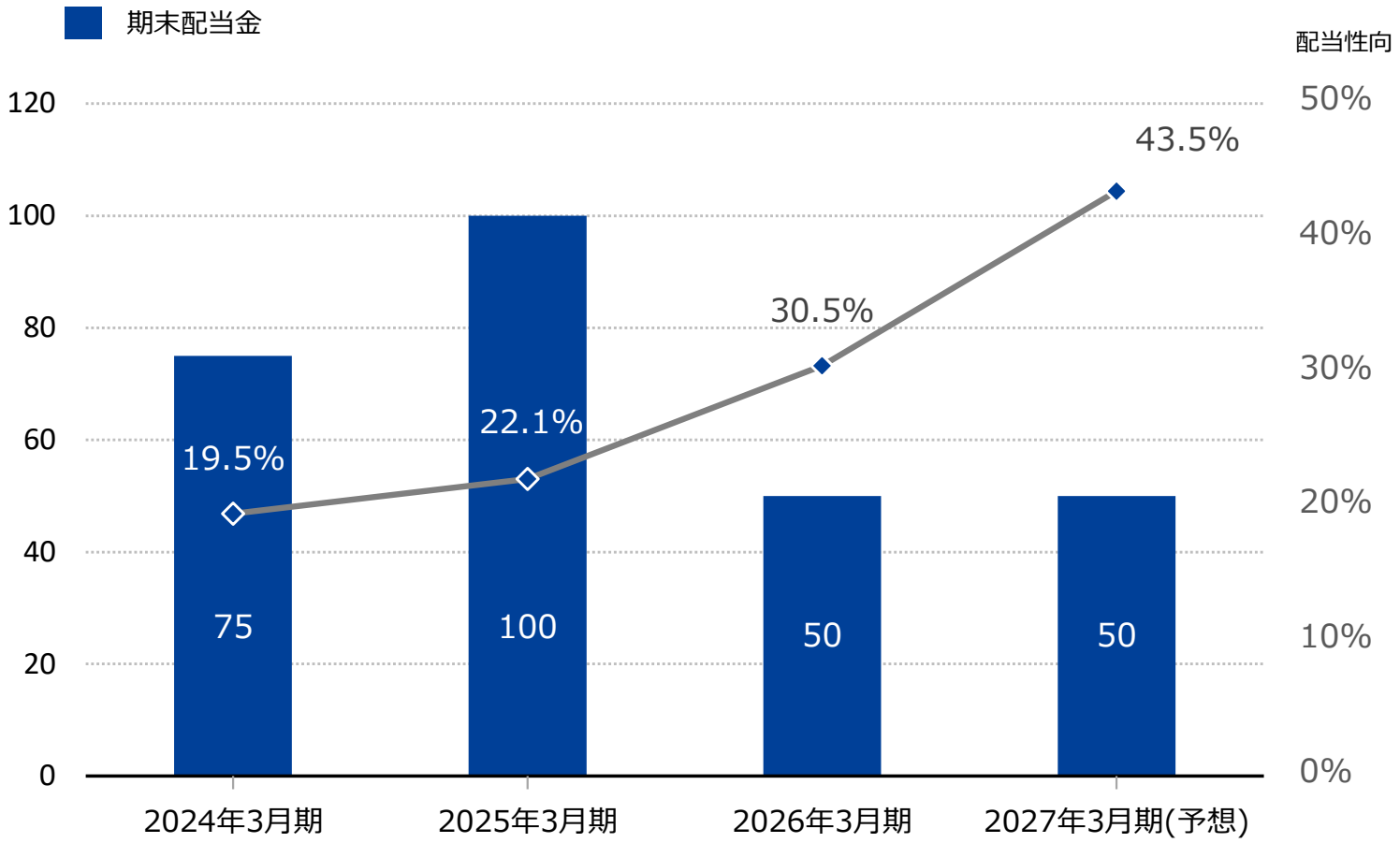
- 売上高につきましては、当期予想に対して47.6%と、概ね順調な推移となりました。
- 営業利益につきましては、売上高の減少や販管費の上昇の影響などもあり、当期予想に対して10.6%の推移となりました。
- 経常利益につきましては、メガソーラーの出資金運用益によるプラスの影響もあり、当期予想に対して34.9%の推移となりました。

（百万円）

	2027年3月期（第２四半期実績）	2027年3月期（通期予想）	進捗率
売上高	**8,098**	17,000	47.6%
営業利益	**95**	900	10.6%
経常利益	**523**	1,500	34.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	**410**	1,700	24.1%

配当金の推移

2027年３月期における配当は、50円の予想としております。



トピックス

ATTAS RX PUREBLUE 発売



UST Mamiya Japan株式会社は、ATTAS RXシリーズの3作目となる、「ATTAS RX PURE BLUE」を発売いたしました。

人間の手の構造に寄り添う「TAMOテクノロジー」により、握りの安定感・コントロール性・振り抜きの一体感を向上させることでスイング中の支点が安定し、遠心力に負けずに押し込めます。

スペックや製品特徴などの
製品情報はこちら⇒

Asian Skill Development 日本語学校 在籍生徒数150名突破



Asian Skill Development Co. Ltd.が運営する、「Asian Skill Development Language School（Asian Skill Development 日本語学校）」の在籍生徒数が、150名を突破しました。

バングラデシュ国内では日本に対する関心の高まりもあり、当校への入学希望者数も順調に推移しております。

この成果を通じて、当社グループは現地における学校運営のノウハウを蓄積し、意欲の高い人材を受け入れる教育体制の構築を進めております。

各種展示会への出展



これまで出展実績のある展示会に加え、新たな機会となる展示会へも出展の場を広げ、当社グループ製品および事業の訴求に努めました。

いずれの展示会におきましても大変盛況となり、当社グループが持つ独自の強みや事業の魅力を、ご来場いただいた多くの皆様へ存分にお伝えすることができました。

本資料の取り扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。

IRに関するお問い合わせ

マミヤ・オーピー株式会社 総務部

TEL **03-6273-7360**

URL **https://www.mamiya-op.co.jp/ir/**